

無敵の パ スト ツ キング!!

作家メモリー

85P

無感覚ローリーは
どんな味だろう？

DOJIN

R18

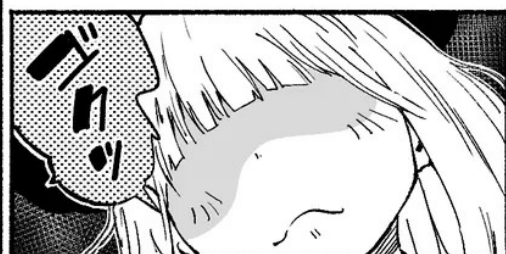
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



初夏のことだった





私を買って
くれませんか？

あまりにも
唐突な状況に
びつくりしたけど…

そんなの
ダメだよ…

また…
子供だから…

そ、
そんなことは
ないけど…

ちよつと
待ってね

あの…
何してるの？

嫌なん
ですか？

すぐ理性の紐を
掴んで
ちゃんと答えた

これなら
どうでしょう!!?

にあにあ





坂梨...
坂梨朱二朗...

これがボクと
ミミちゃんの
初めての出会いで...

私はミミ!
10歳!
よろしくね!

本当に
熱いー

その日は
本当にー

初夏で
あった…

はゆ…

おおお…

おお…

ドキ

ドキ

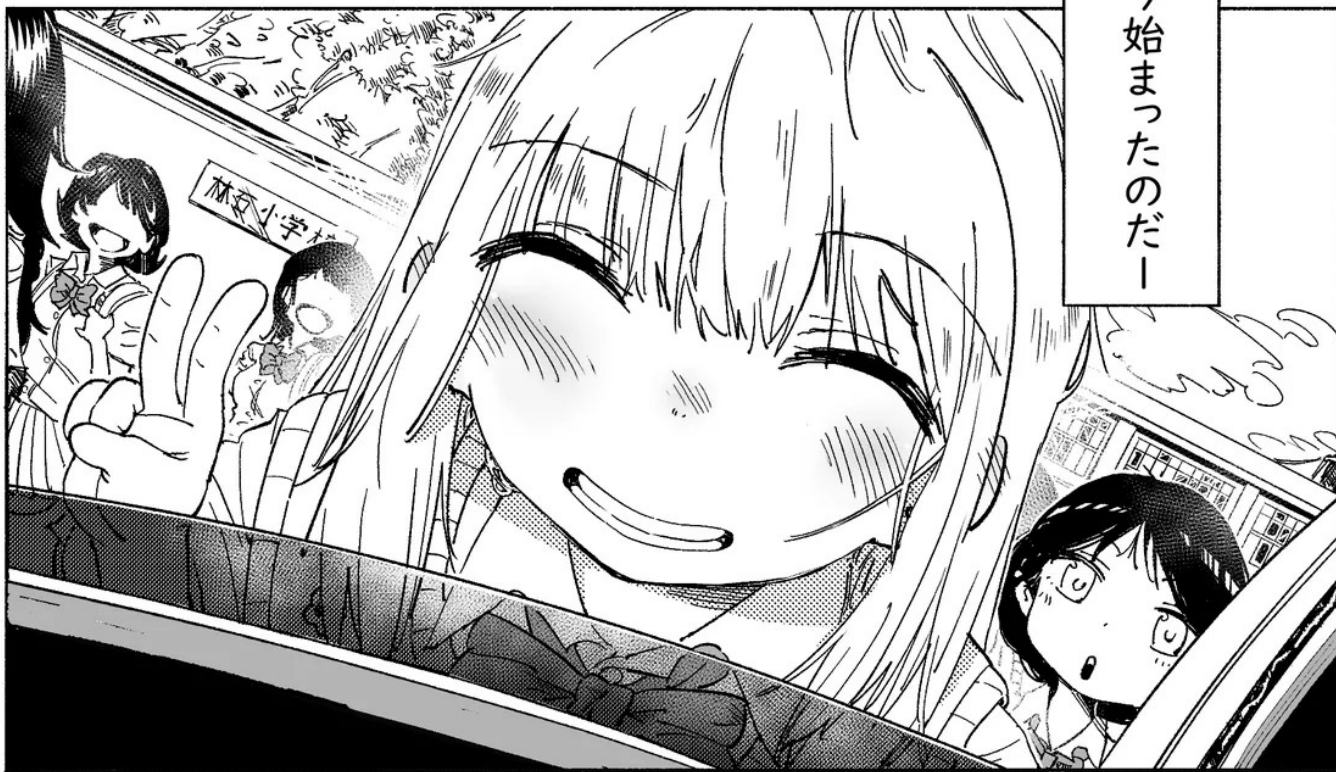
ドキ

無敵

の

ストップ
キング

今始まったのだー



だれだれ？

だれなの？

ミミのお兄ちゃん！
チヨー優しい！

あゝこの前言ってた
あの！

そうそう！

わーお

いいな



またね

また
あした。



お兄ちゃん！
みんながね



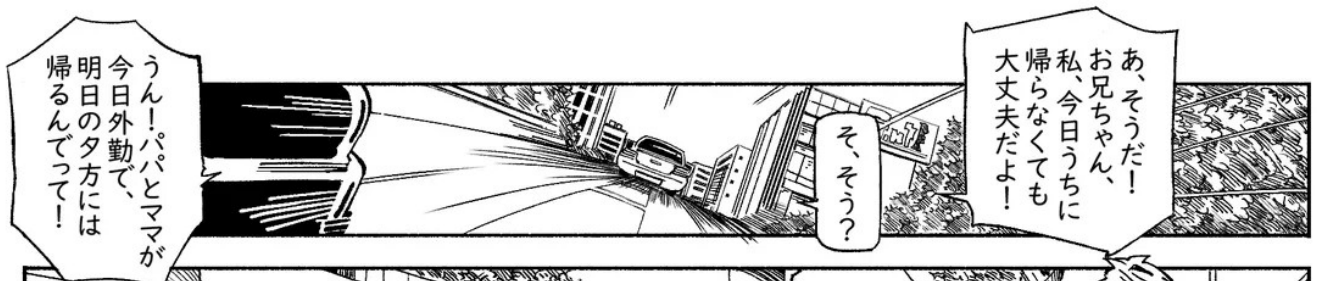
私が最近明るくて
可愛くなったって！

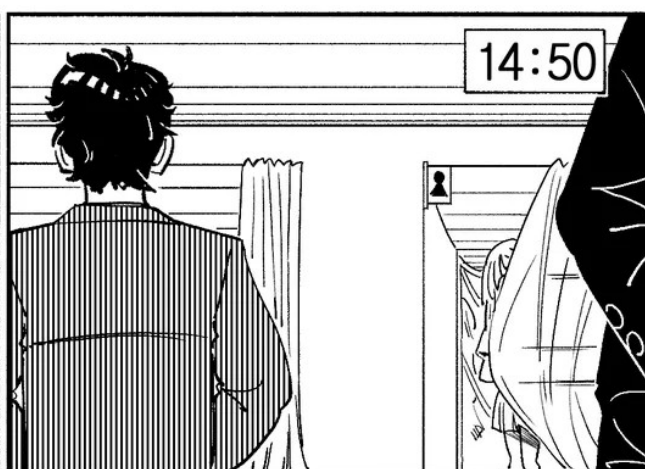
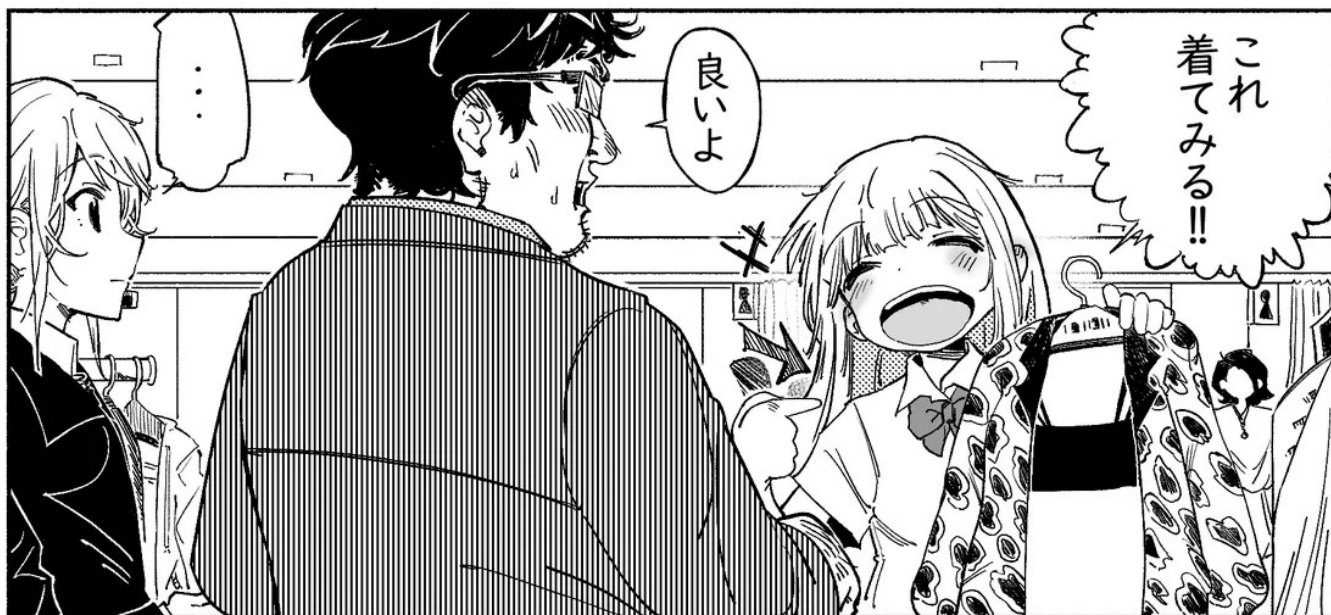


全部お兄ちゃんのお
かげだよ
ありがとう

そうか、僕も
最近ミミちゃんと
一緒にいられて
嬉しいよ









そして今日はー



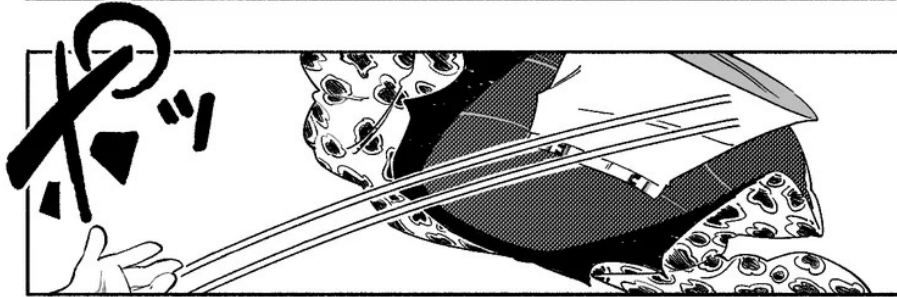
わあ！ここが
お兄ちゃんの家なの？
不思議！

初めて
ミミちゃんを
うちに連れてきた

ミミちゃんの家だと思って
自由に使ってた
いいよ

本当！？
お兄ちゃん
大好き！









大丈夫！

これ飲むと
頭痛くなるよ？



ミミも
飲んでみる！



ああ！

ガッ
ガッ
ガッ



なんか
苦いけど
ウマイよ！

きゅあ〜！
おいしい！



気持ちいいな…

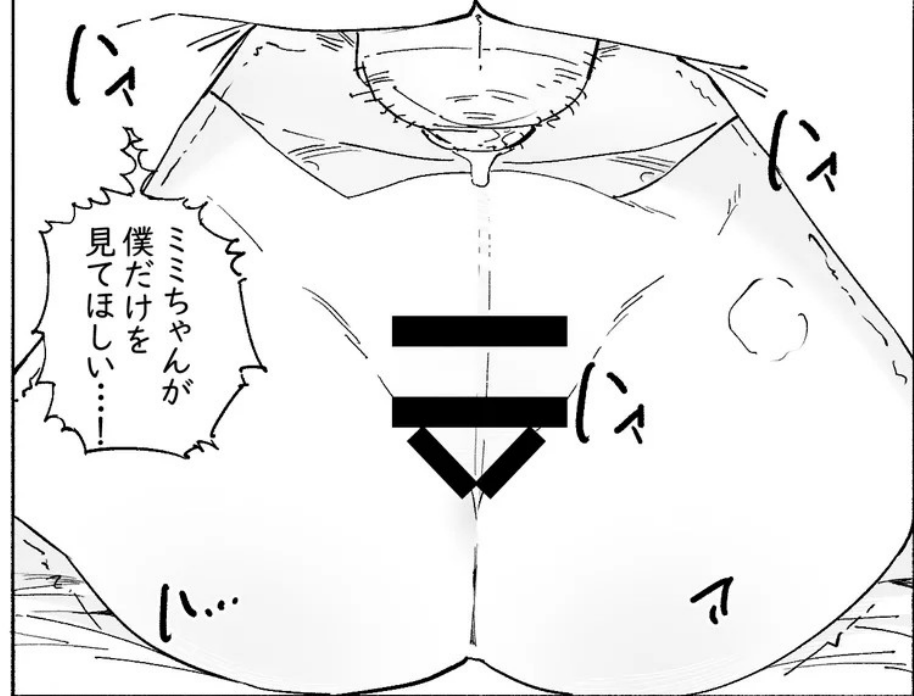
ふあ…
ふあ…

ところで…



ミニちゃんを
がっかり
させたくない！

ぐう
ぐう



い

い

い

ミニちゃんが
僕だけを
見てほしい……！

い……

ア



だ、誰にも
ミニちゃんを
渡したくない！

お兄ちゃん

あ、
うん！？



やりたいの？

私、結構濡れてる？
みたいだけど

はあ

はあ

ドキ
ドキ

はあ

びく

ドキ
ドキ

びく

ぽろ ぽろ

はっ

ぽろ

じゃあ…

ぽろ

はっ

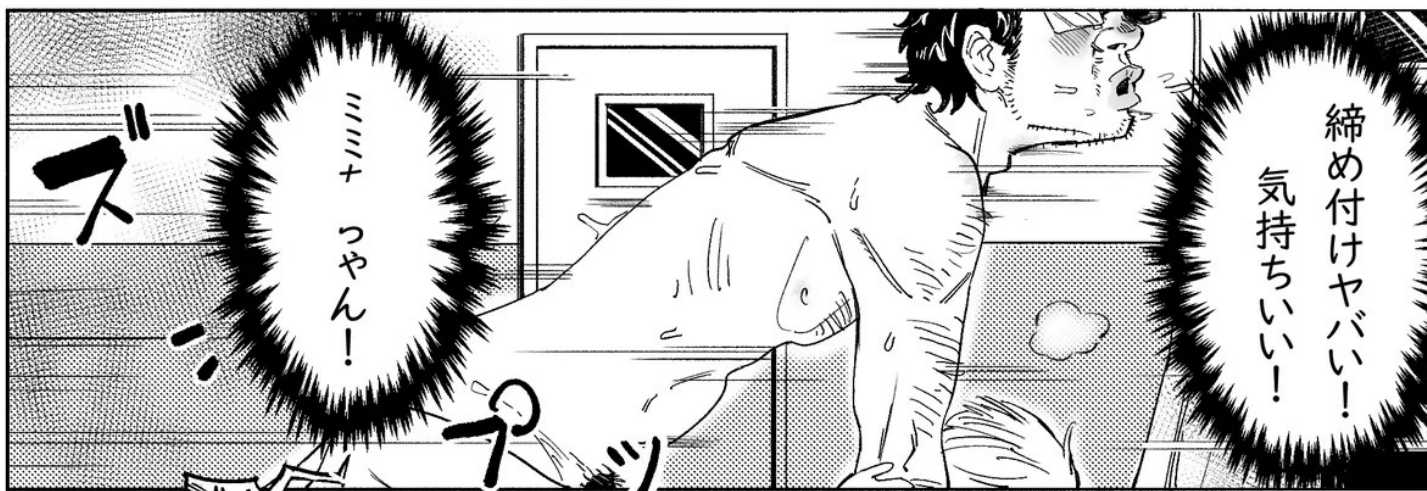
ぽろ

お兄ちゃんの
やりたいこと…して
いいよ…

ぽろ

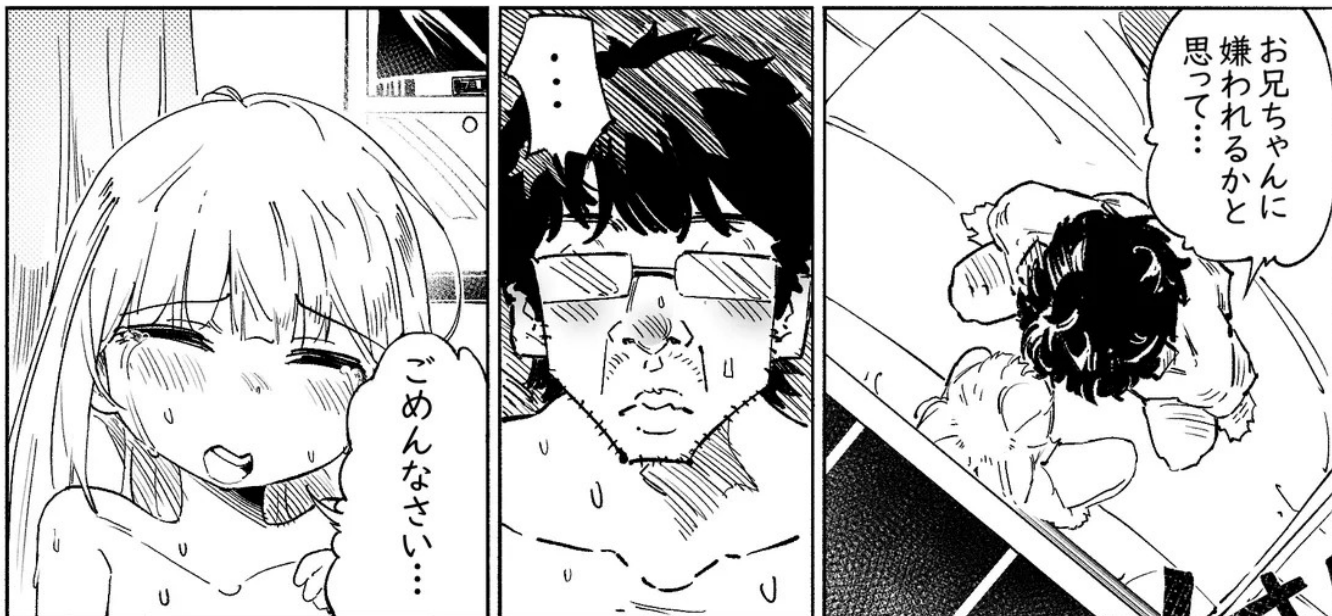
はっ

ぽろ











やめて…

そんなこと
言ったら僕が
なんになる…！



すっかりしろ
弱気になっち
やダメだ！



そんなことで
僕がミニちゃんを
嫌いになるわけ
がないじゃない！

ミニちゃん、
僕がそんなに
みつともない！？



ミニちゃんは
僕のモノだ！

一生守って
あげる！

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

お腹が満たされる感じだよ...

これが僕とミミちゃんの初経験で

びく

ブル

びく

ブル

お腹が満たされる感じだよ...

これが僕とミミちゃんの初経験で

びく

ブル

びく

ブル

ミニちゃんを
家に送らせて、

また明日〜

一人で
情けなく
泣き続けた

...

おい
おい

ぽろ
ぽろ

ぽろ
ぽろ

ぽろ
ぽろ

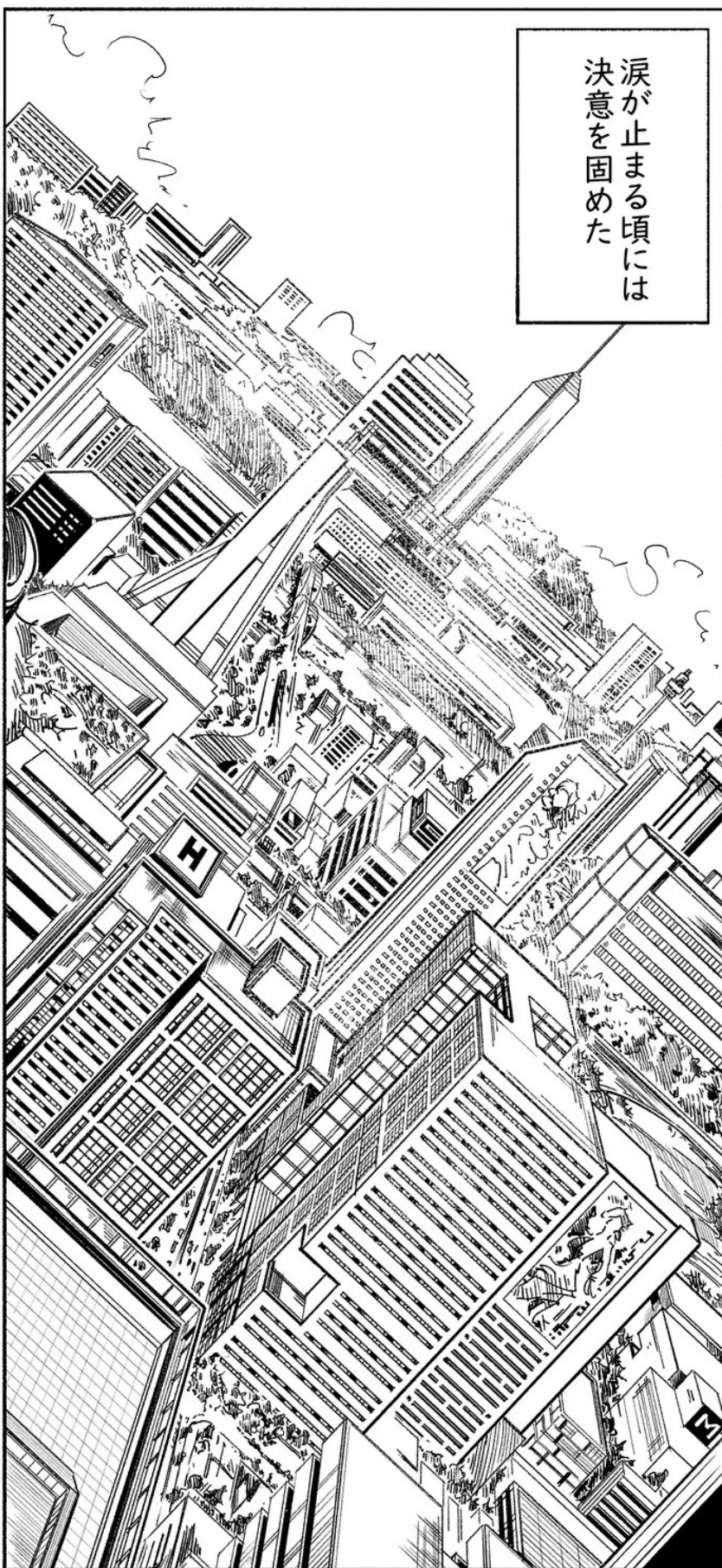


ミニちゃんを
疑った僕が
バカみたいで



頑張つて
ミニちゃんを
守りたいと

僕は
もう迷わない



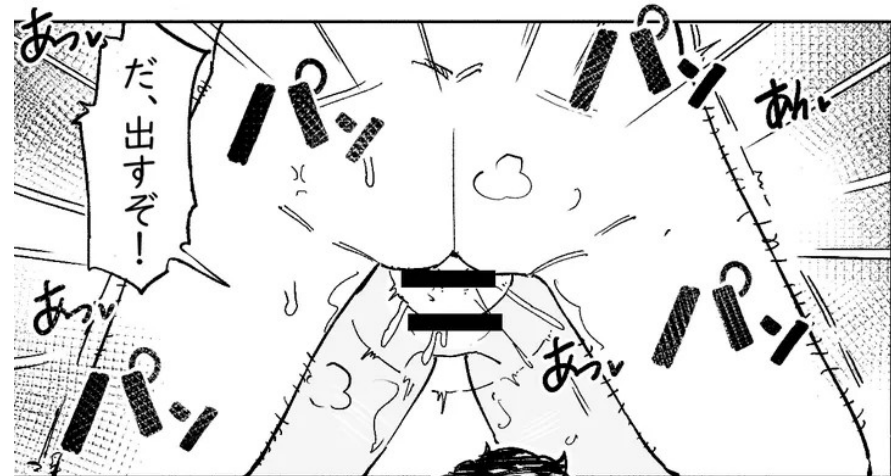
涙が止まる頃には
決意を固めた

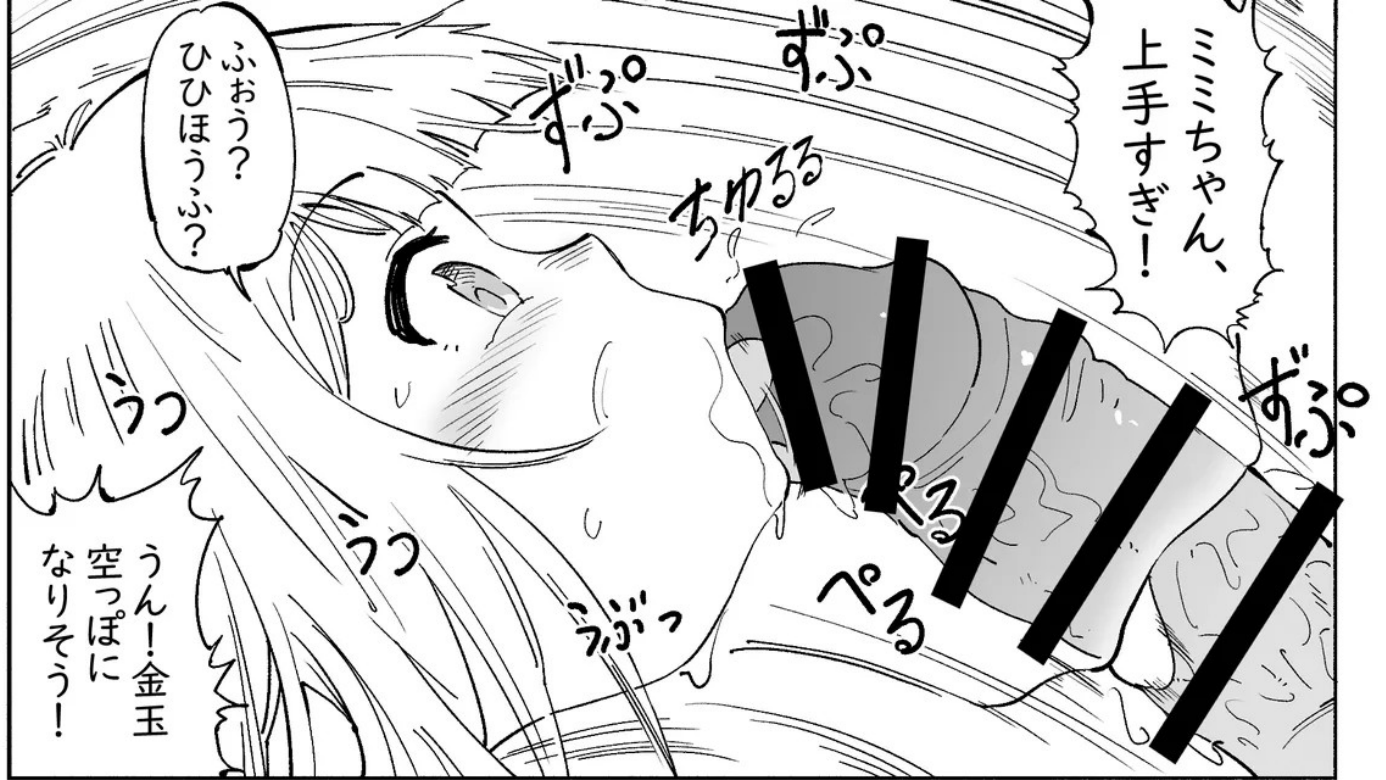


ただ…

ありがとうございます！

ただ進むだけ





こんな無感覚な
ミニちゃんを
見ると...

この次
どうなるの、
お兄ちゃん？

何気ないように
するのがあまりにも
エロかった

え!?

多分二人で
冒険に
出たはずよ

ちよっと...

お兄ちゃん、
優しくしてよ
揺れすぎて
読みにくい！

あ、
ご、ごめん！



くああ
ああ！



おかげで
楽になった…

ありがとう、
ミニちゃん

拭いて、
お兄ちゃん



ヒュオオオ...

今日も
拭いてくれて
ありがとう...♡

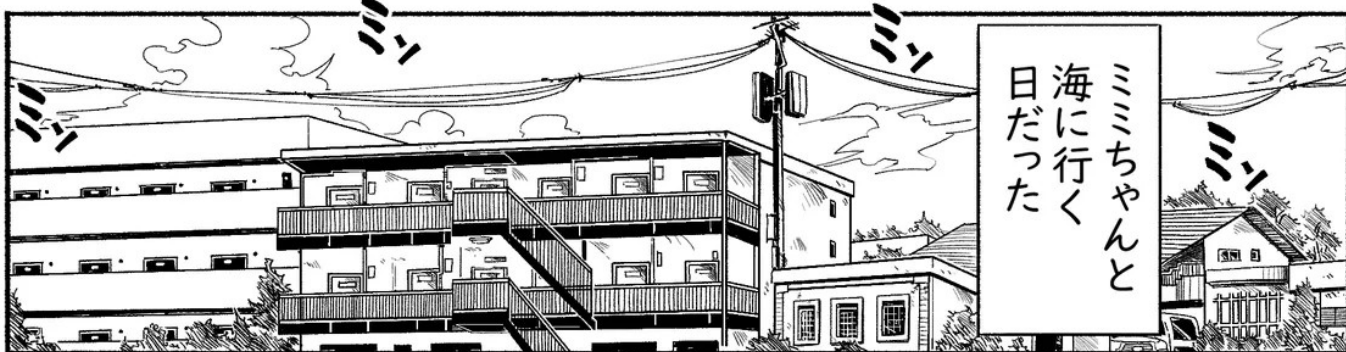
ニツユリ



そして
二日後はー

幸せだなー





ミニちゃんと
海に行く
日だった



海でナニを
しようかって
想像するだけで

ミニちゃんと海！
よっしゃ！



7月2日の
朝に出る
約束をし：

しかしー



全部
お前のせいだよ！
分かってんのか！？

そうやって
すぐ酒ばかり
飲んじゃうんだから！

うるさい！
お前に
何がわかる！

言ったわね！？

お帰りなさい、
ママ、パパ



ミニちゃんとの
幸福は…

あなたは
なんでいつも
そうなの!?

あ?
文句あんのか!?

お前も
文句あんのか!
失せろ!

ミニは…

二人が
幸せであって
ほしい…



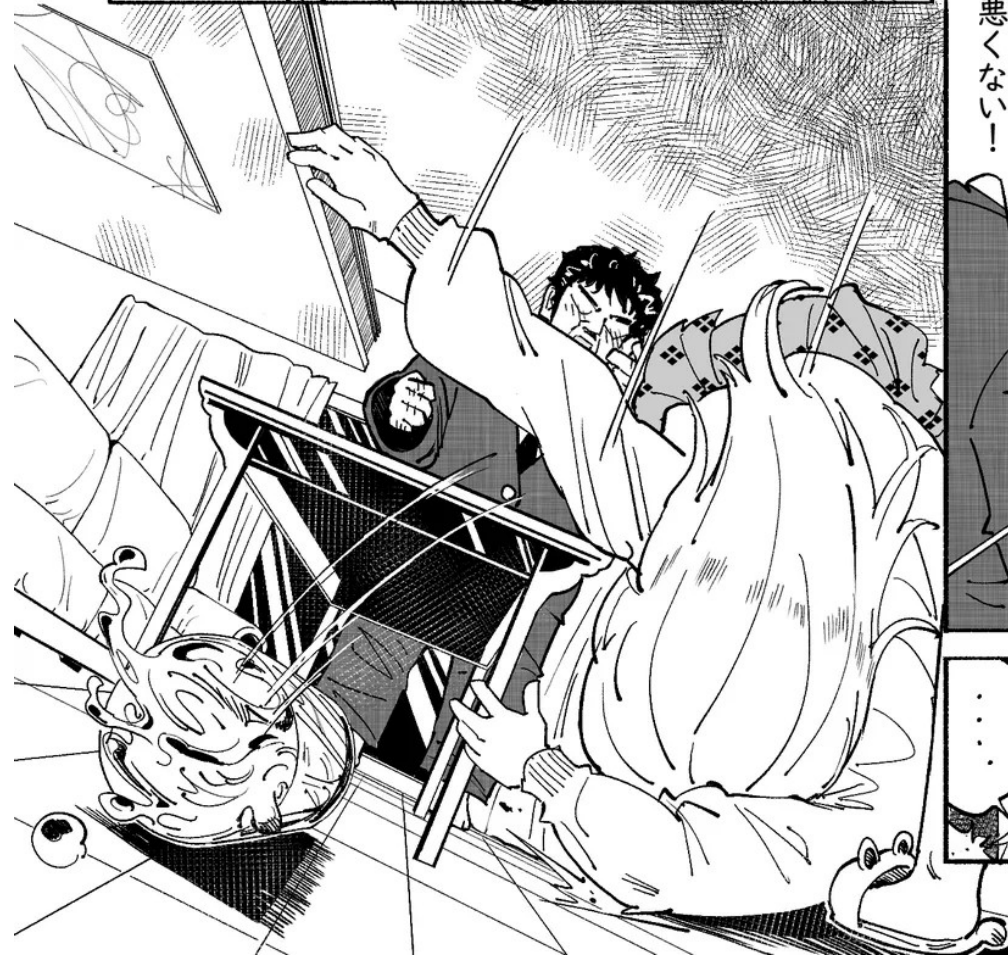
きゃ!
ハナちゃんに
何するのよ!



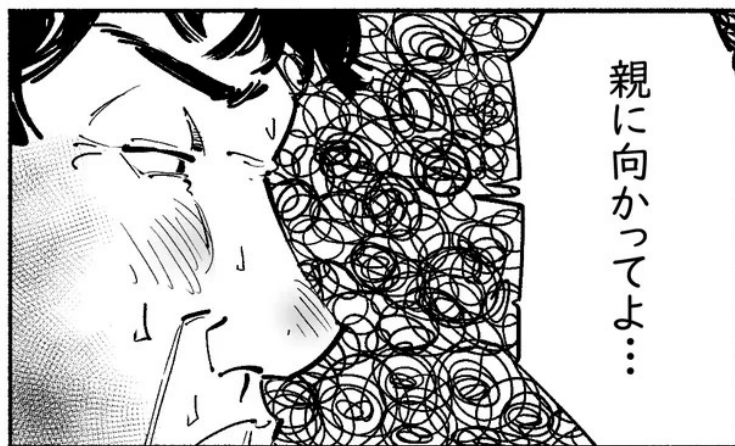
酒飲んだら
いつもそうやって
暴力振る舞う
じゃない!

うっせよ!
俺は悪くない!

長くは
もたなかった…

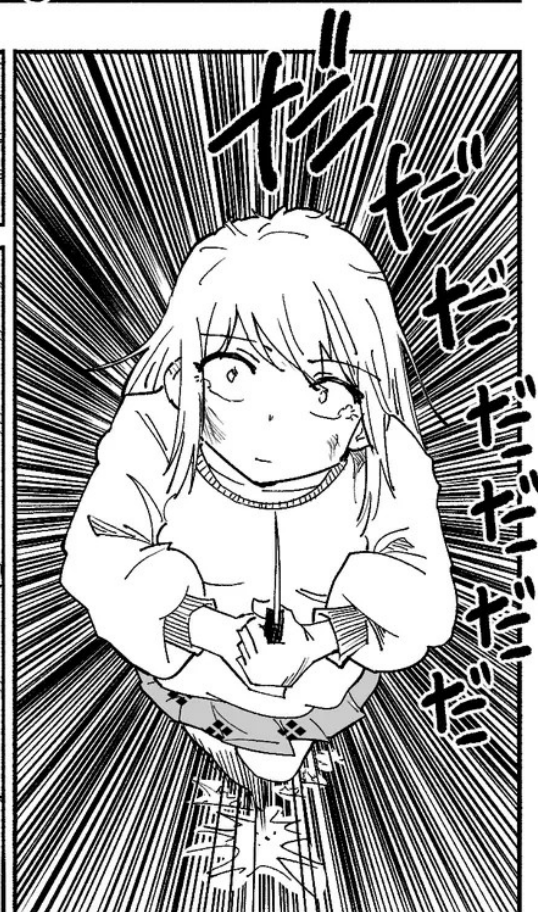


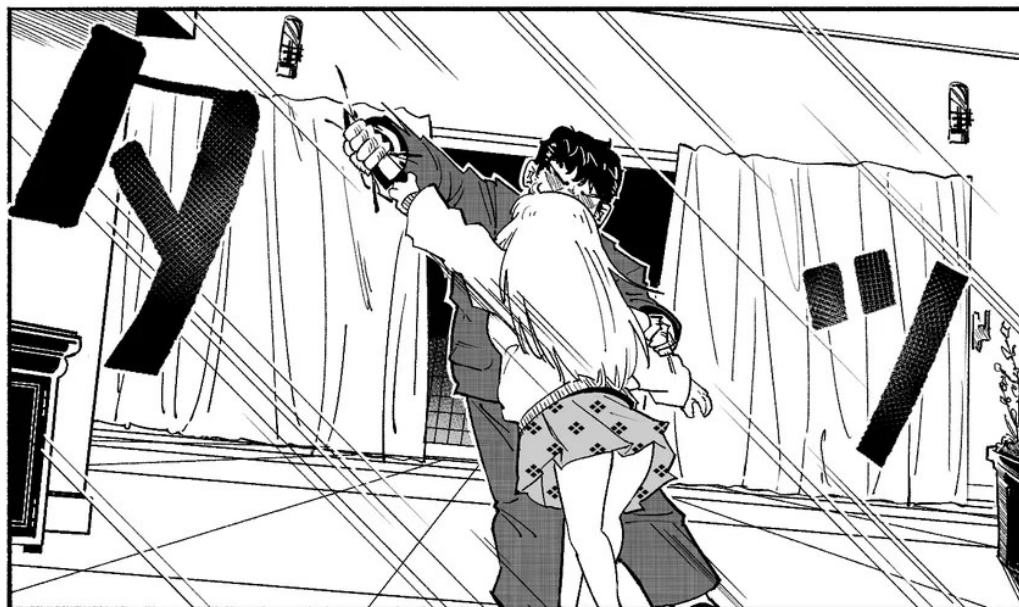
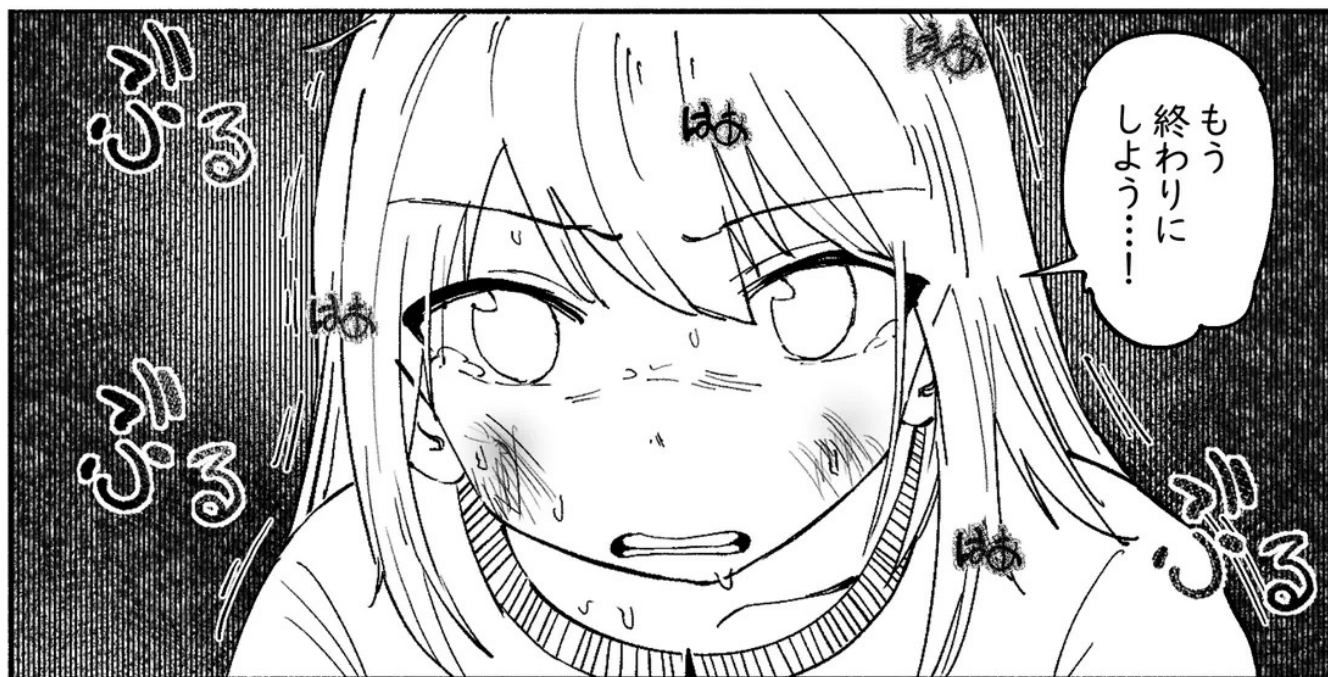




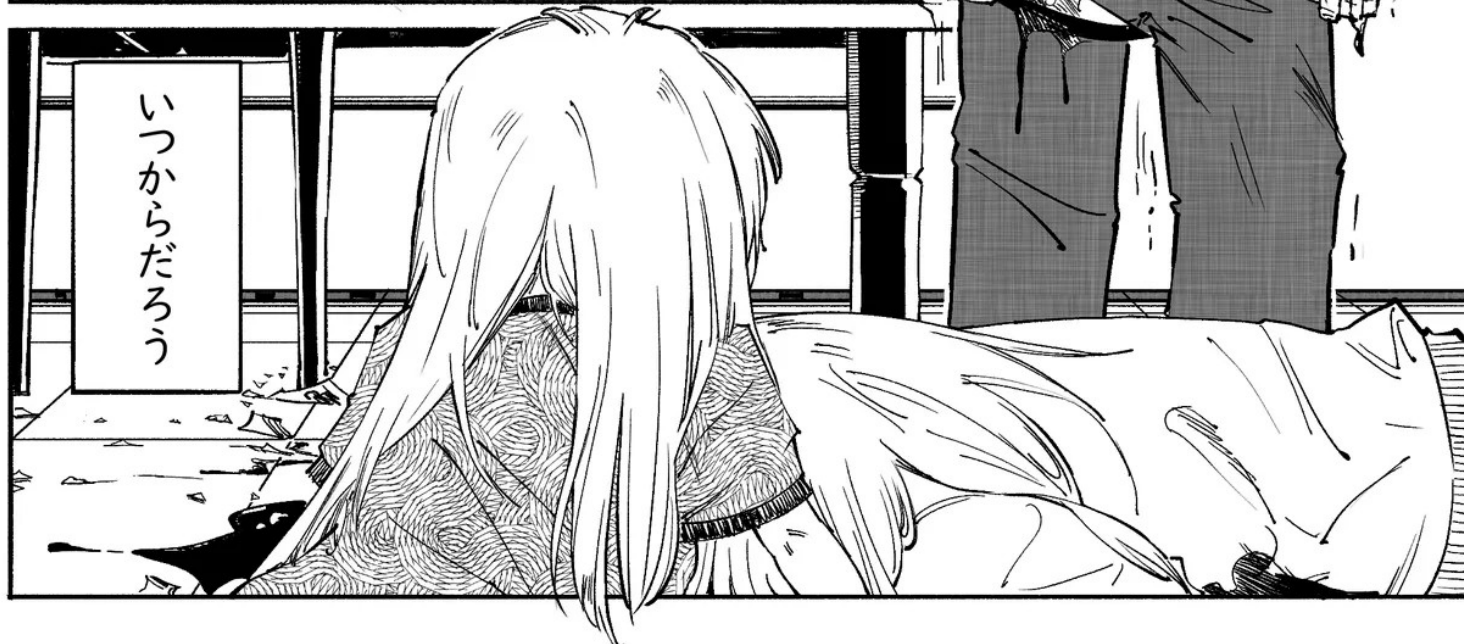


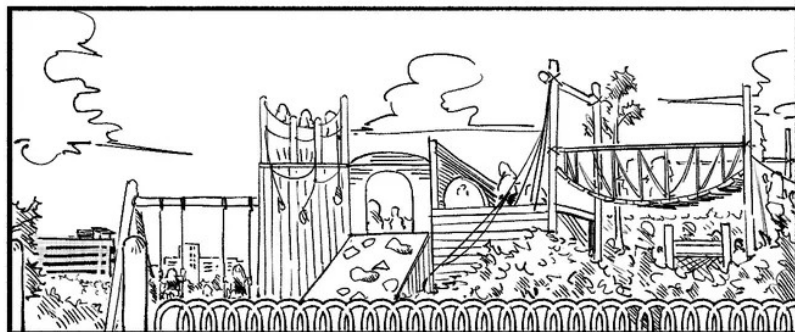












私が無感覚に
なったのは



紅い花が
咲いたよ!

きゃー!



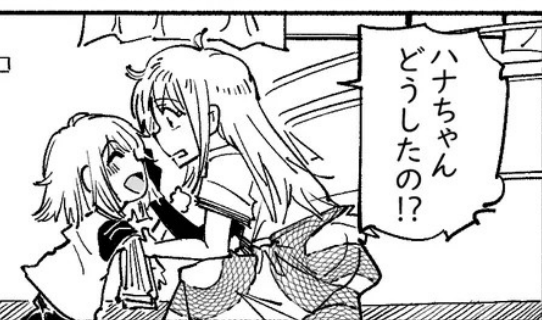
ママ、
これ見て!



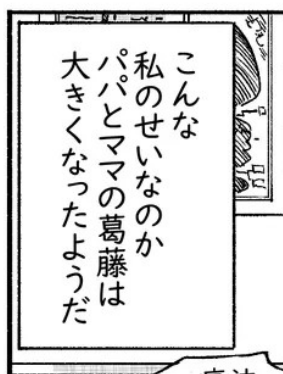
多分
生まれてからの
モノだと思う



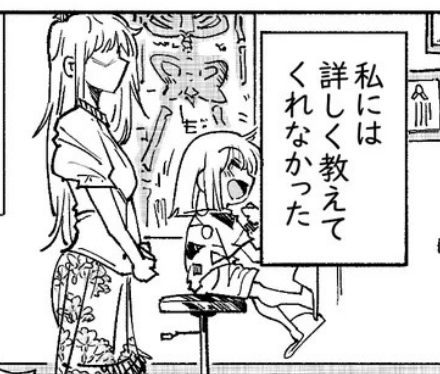
プスっとしたら
出た!



ハナちゃん
どうしたの!?



こんな
私のせいなのか
パパとママの葛藤は
大きくなったようだ



私には
詳しく教えて
くれなかった



病院にも
行ったけど
私が幼いからか、



泣いてんじゃねえよ!
痛くもないくせに!

私に暴力を
振る舞い始め...



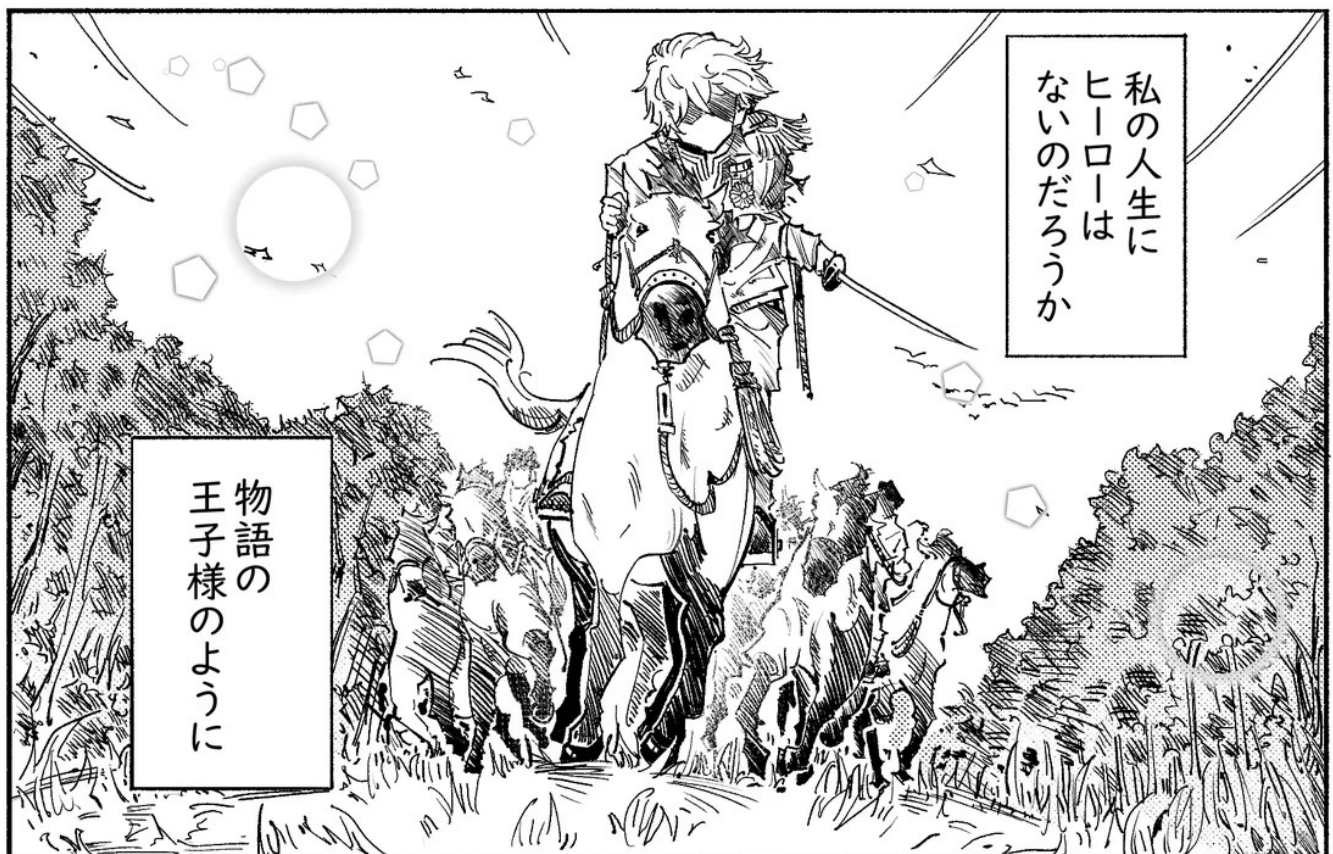
パパ!
ごめんなさい!

おかん!!



昔には
睦ましい
家族だったのに...

あなた、
もうやめて!





お酒ばかり
飲むパパと



ある日
その気持ちが
強くなった



血まみれの
ママ



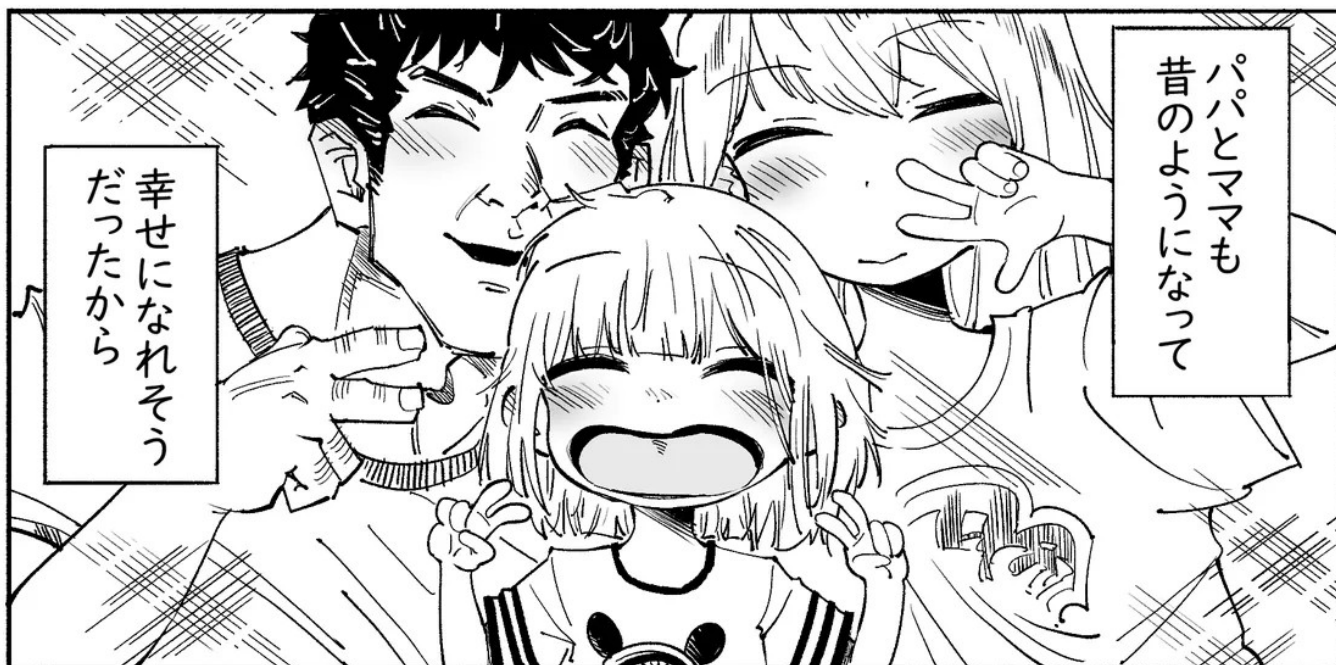
なんか
いたずらを
したかったのかも
しれない

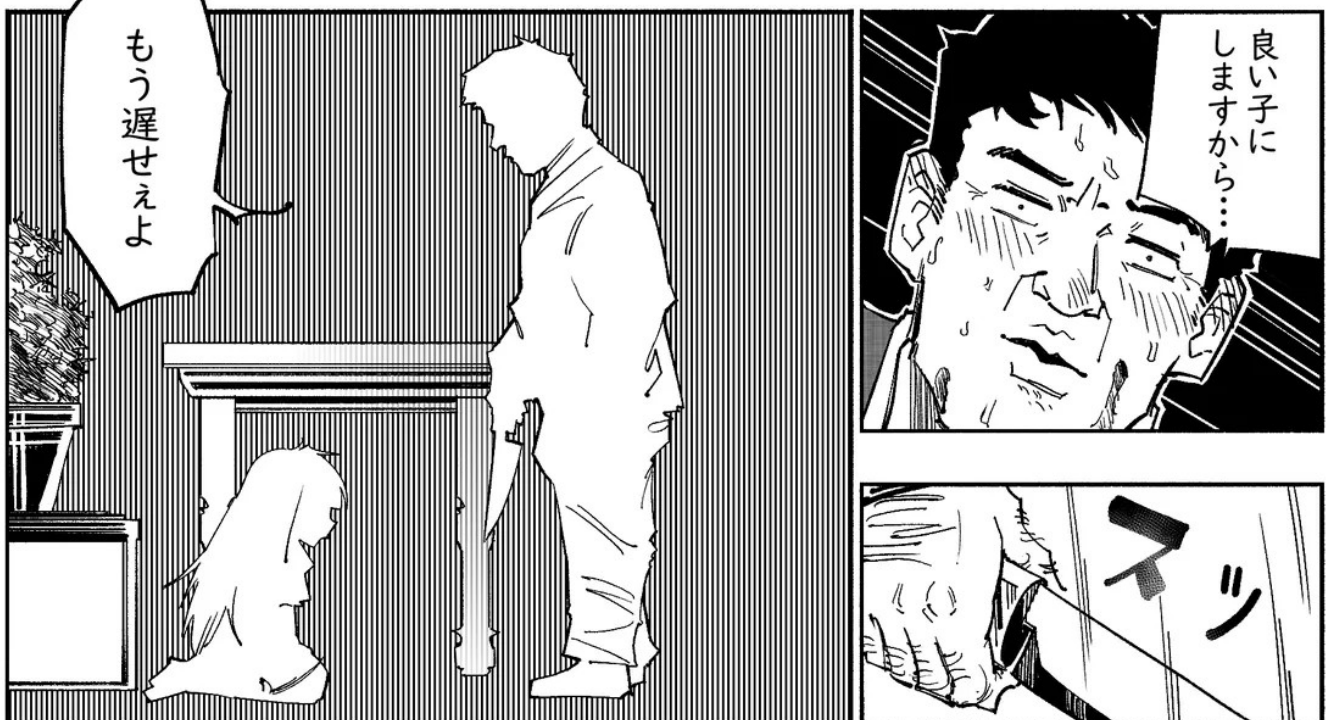
初めて
最後に

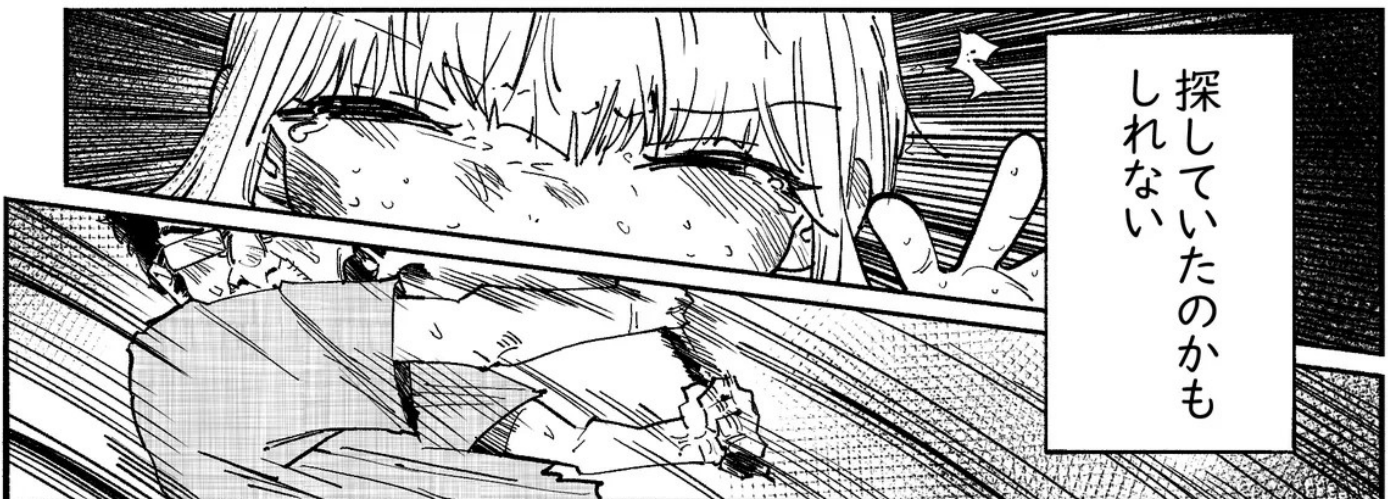
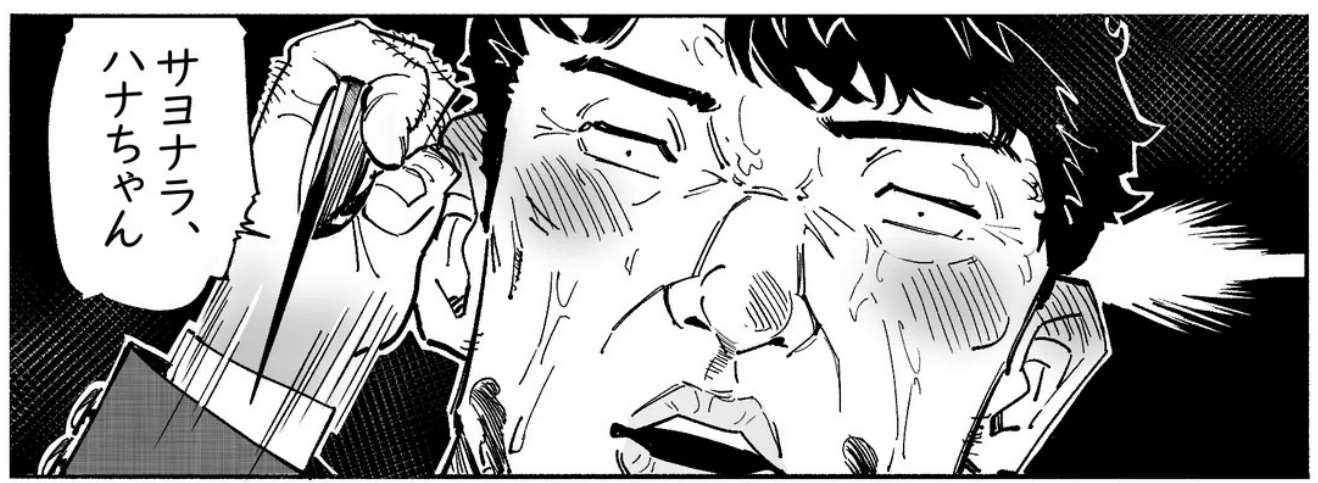
なんか
こうすると



感覚が戻ってきて





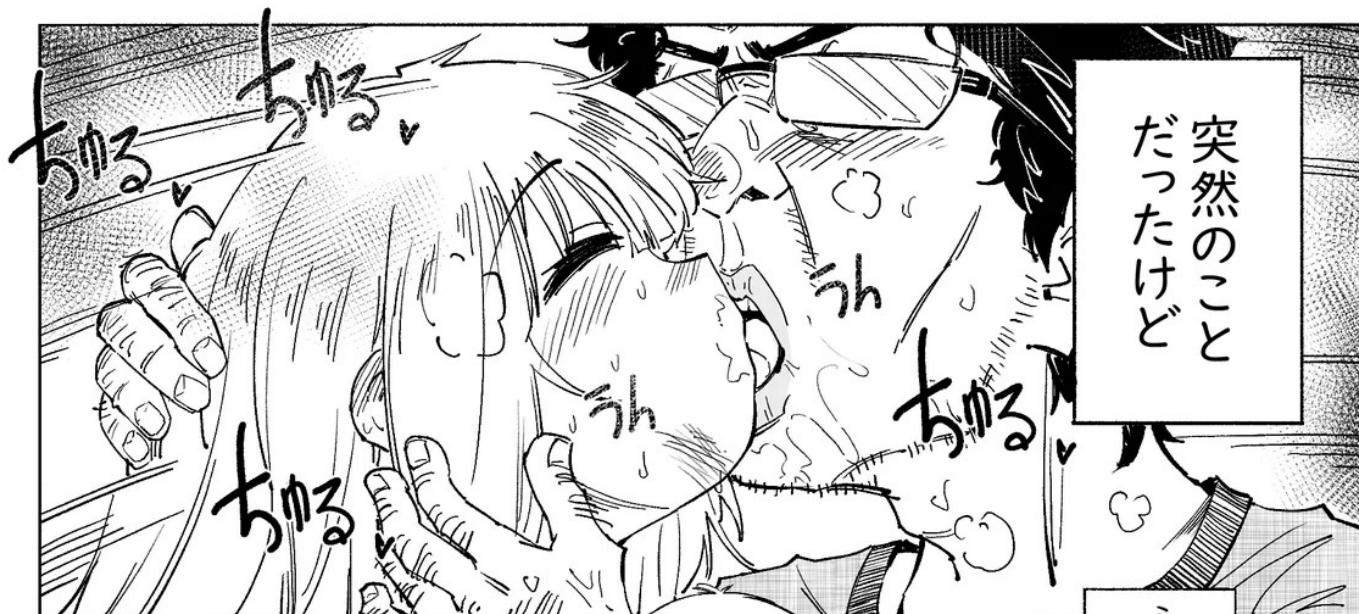




私だけの
ヒーローを――

ミニちゃん！





突然のこと
だったけど



ミニちゃんも



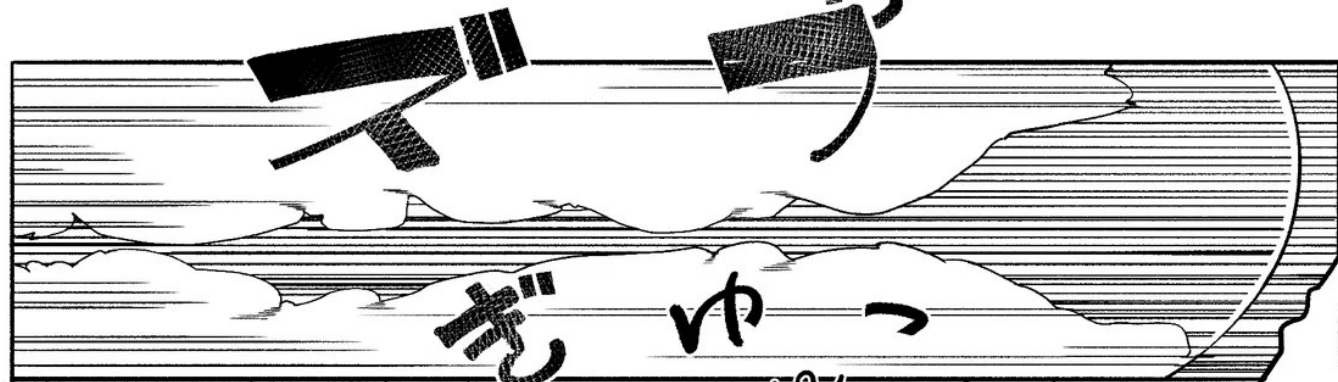
同じことを
考えてる
ようだった



ズボン...
邪魔...







ぎゅっ

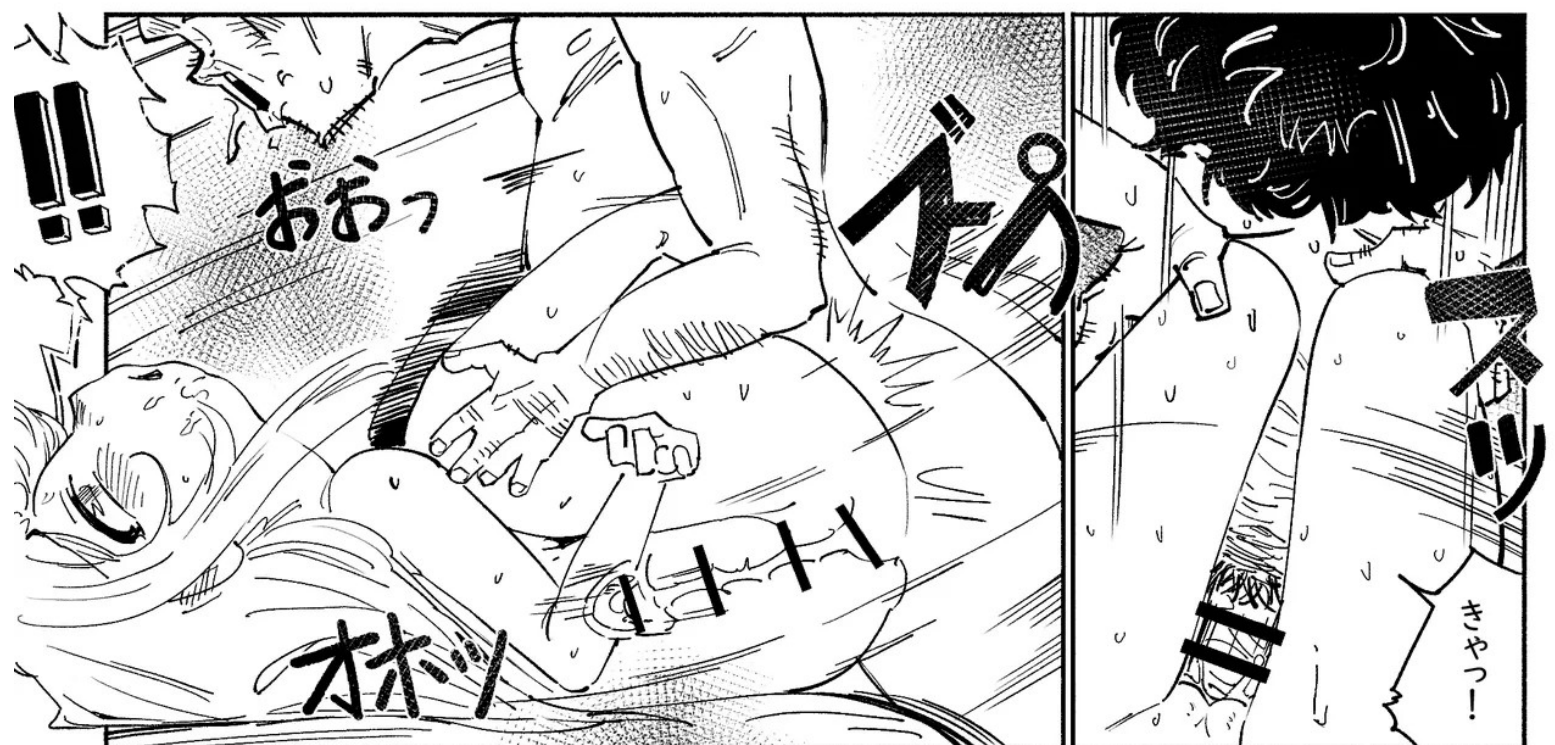
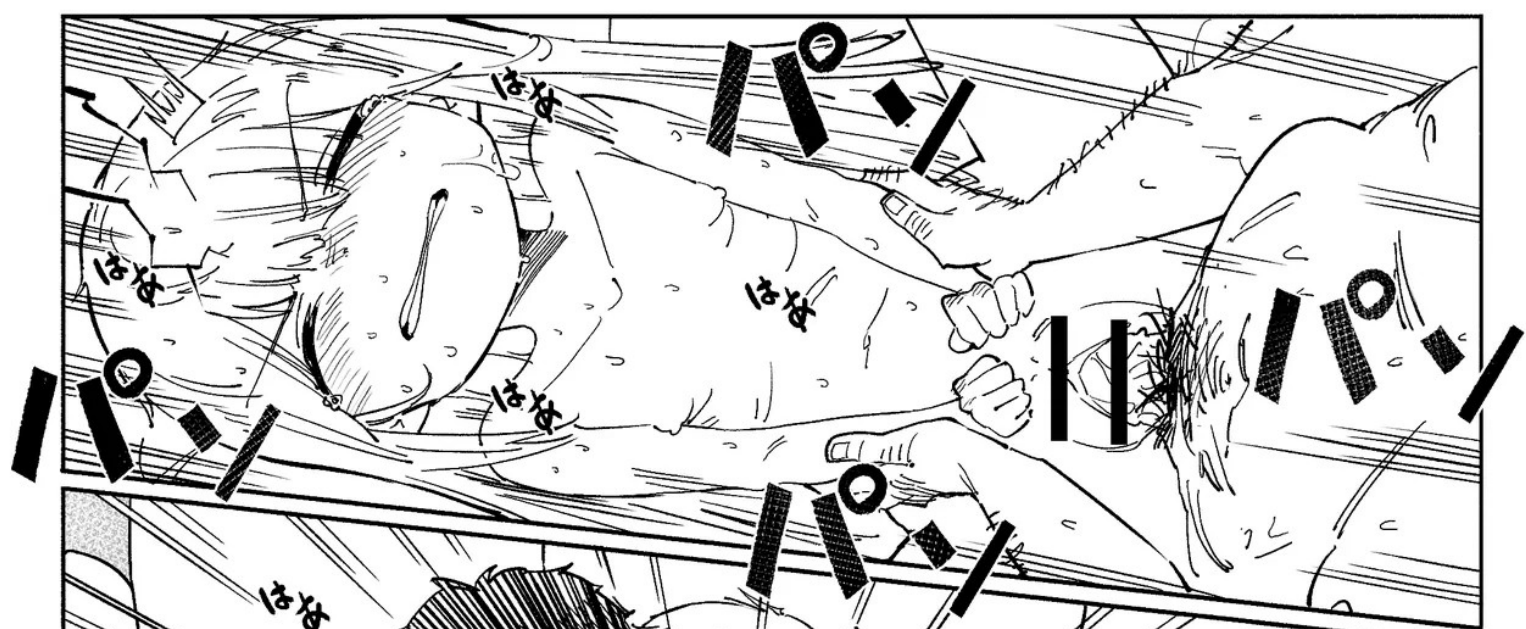
はあ
はあ
はあ

痛いよ...

お、
奥まで
入った...

ビクッ

くっ
くっ



はっ!?
し、子宮に
当たった!

初めての
体位なのに…
奥まで入って来たよ…
気持ちいい!

い、イキ
そう!

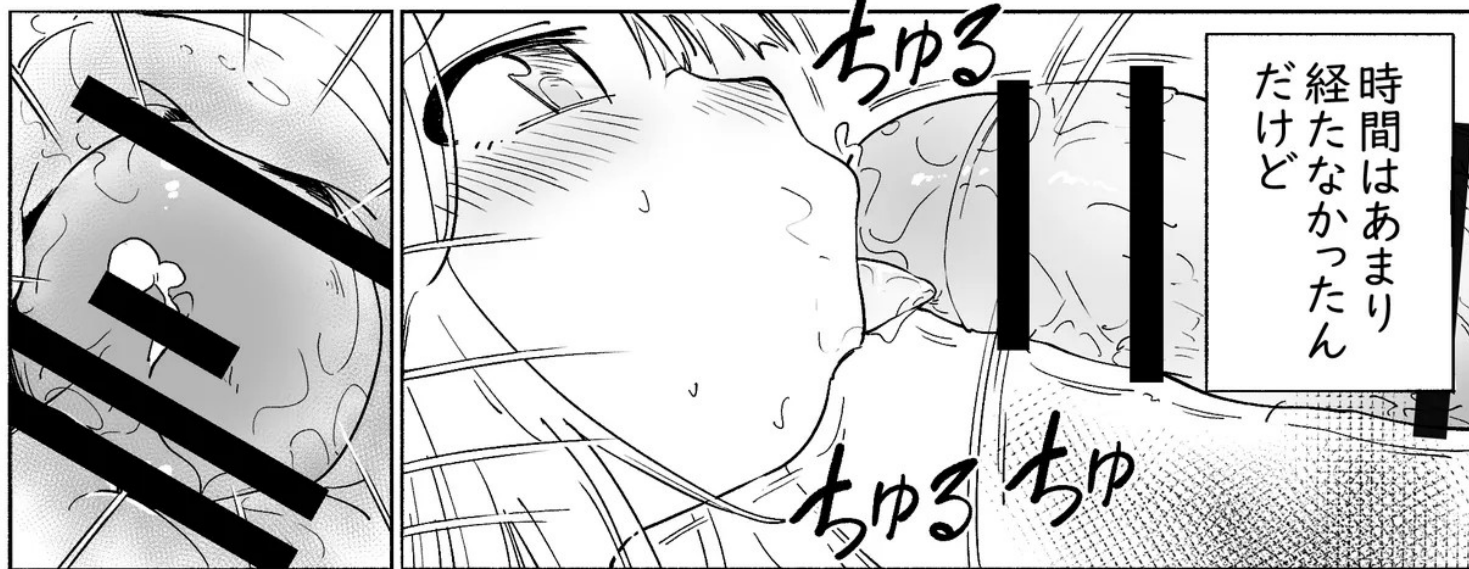
ギンギン

すごい
締め付け
だよ!

イっても
いいよ!

イ、イク!





時間はあまり
経たなかったん
だけど



とても
懐かしい
感じがした



お兄ちゃん、
今日も拭いて
くれる？

僕の答えは
「もちろん」
だった

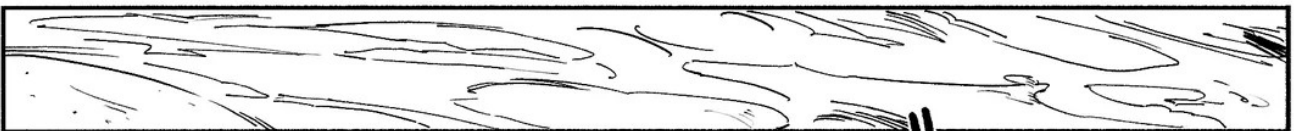
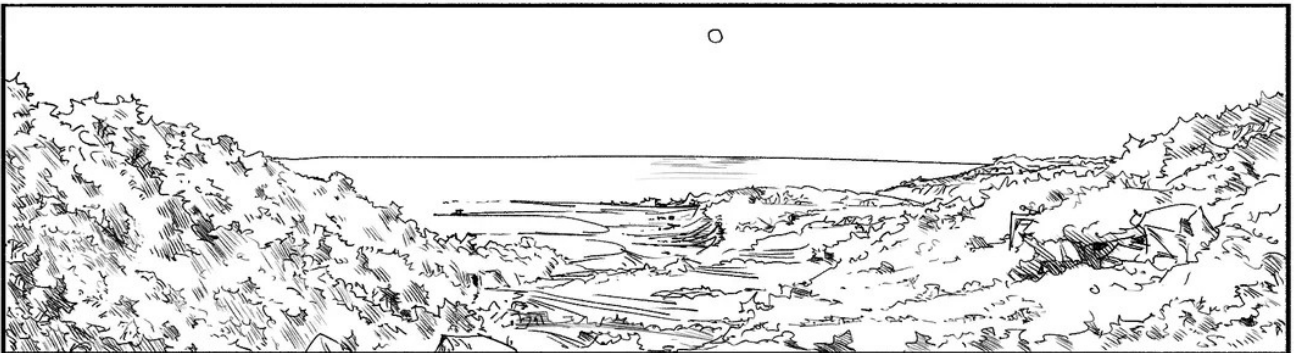
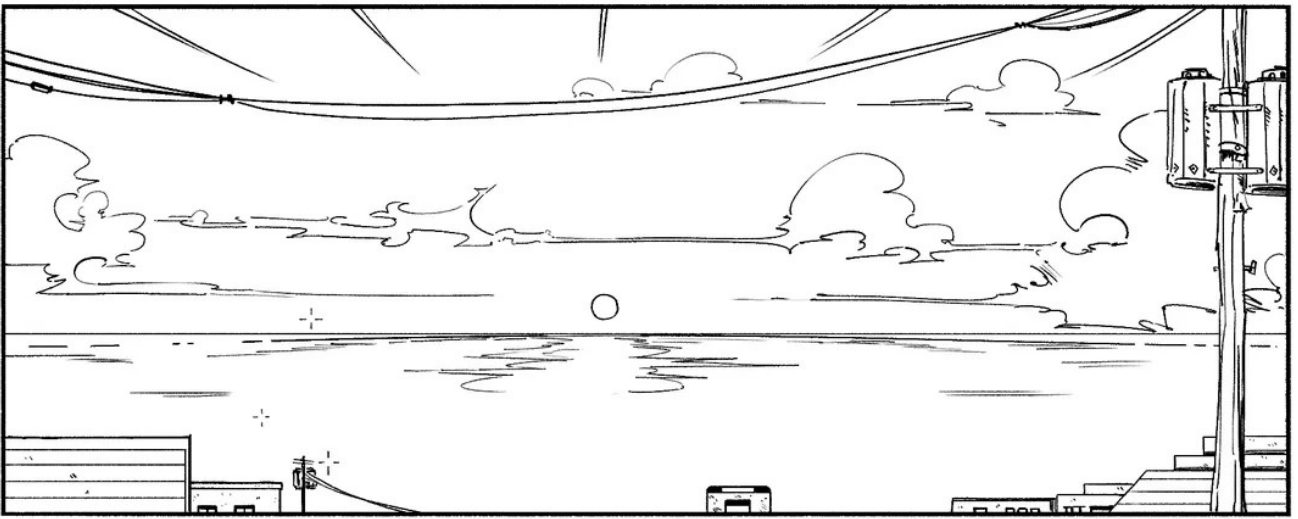
もちろん、
ミニちゃんは
僕のモノだから

ああ

ぱあ

僕が幸せに
してあげる！

きゅっ



その後、
僕たちは僕たちを
縛ってるものから
逃げるように

どこかも
わからないところまで
来てしまった

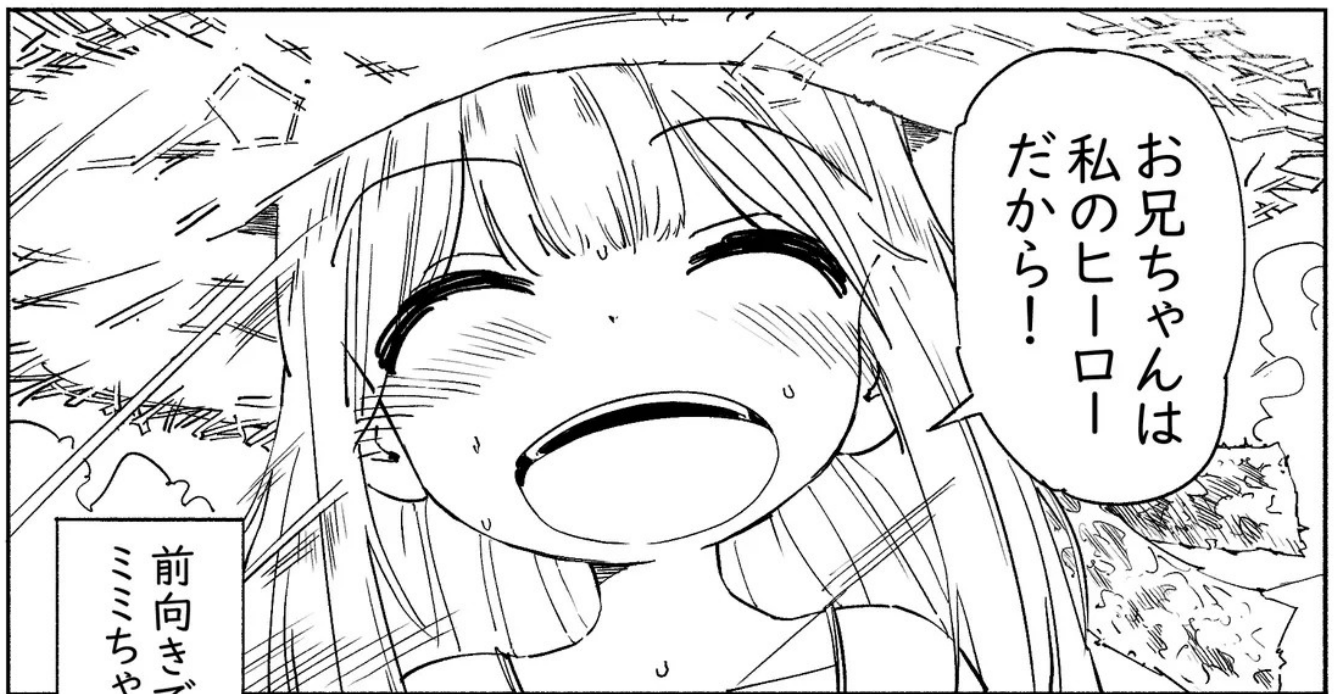
僕は不安だったけど、
ミミちゃんは
むしろ幸せそうだった

これ
おいしいね

ミミちゃんは
怖くない？

何が？





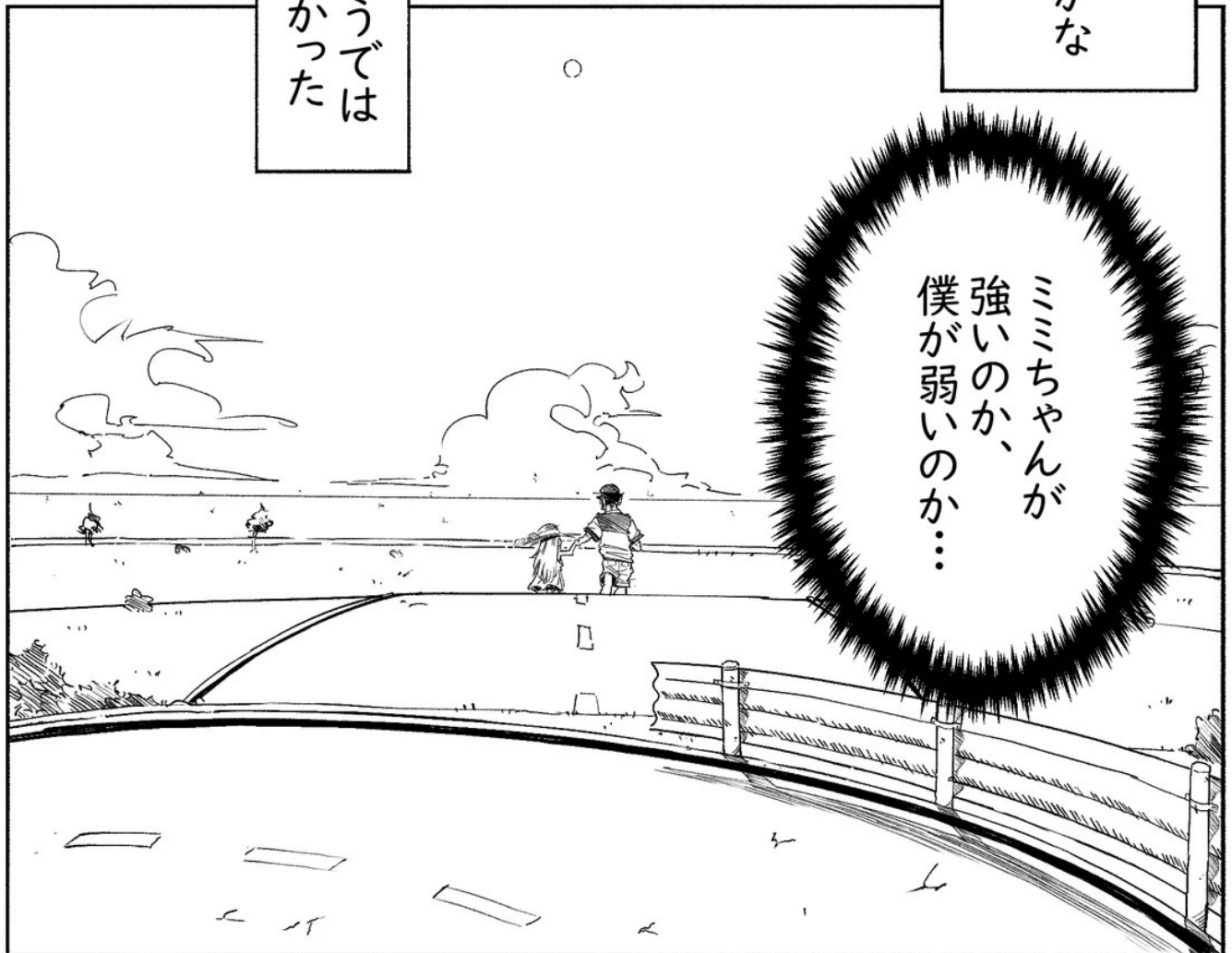
お兄ちゃん
私のヒーロー
だから！

前向きで明るい
ミミちゃんを見て

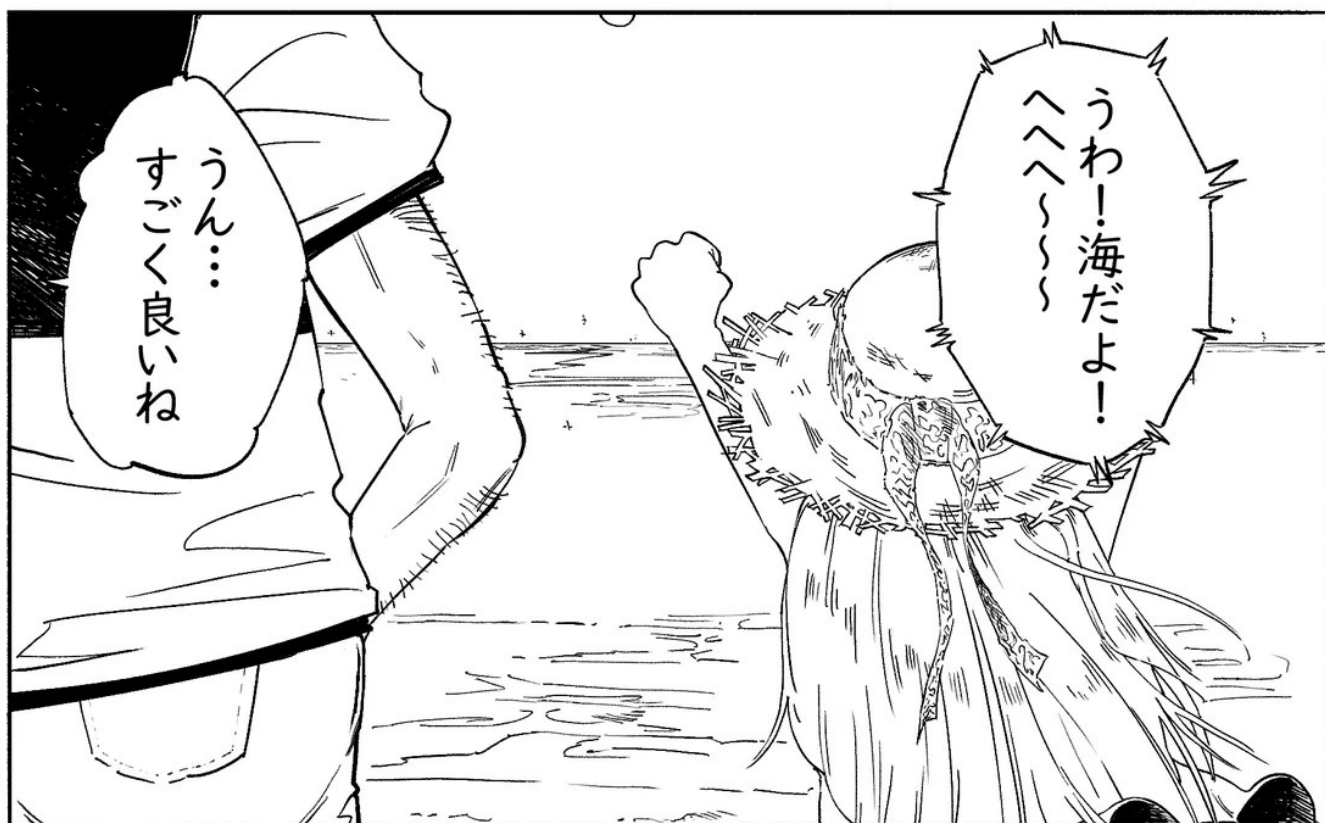
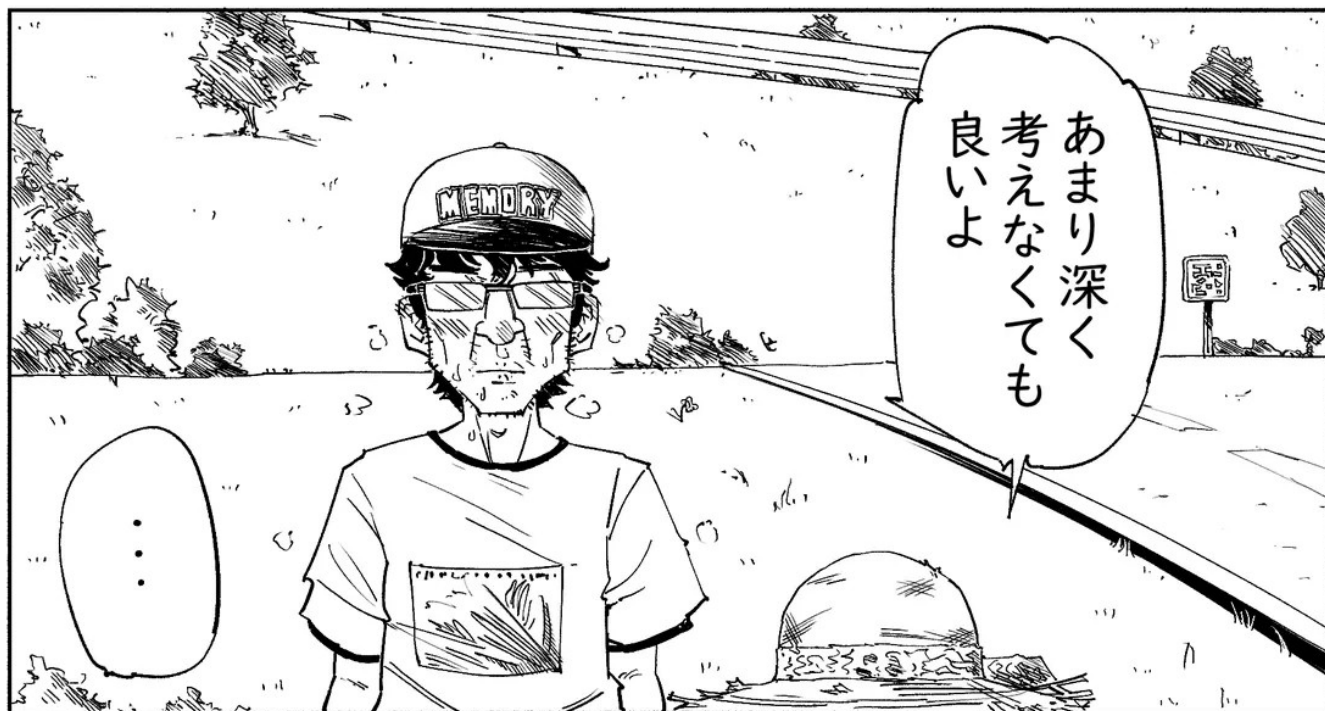


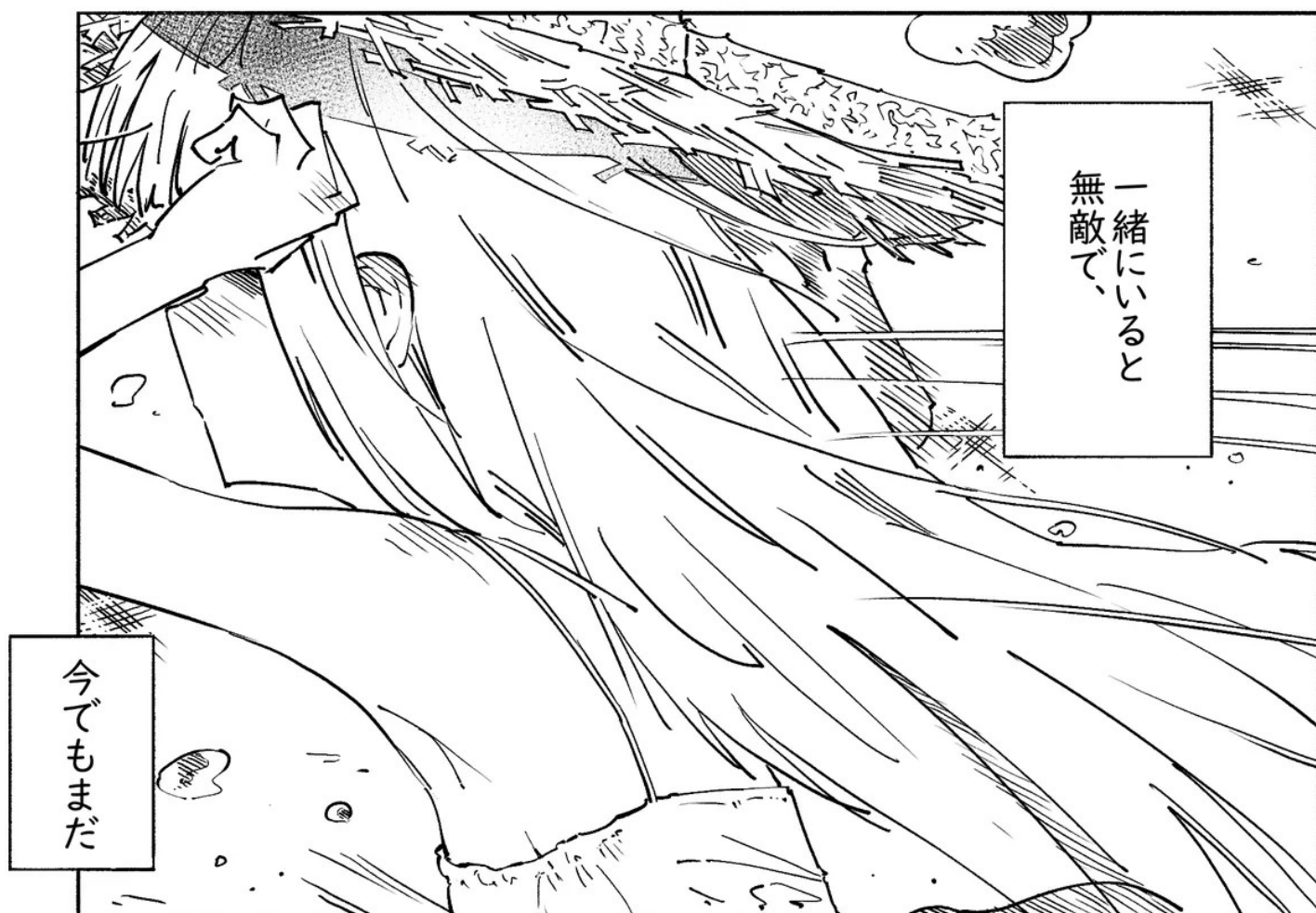
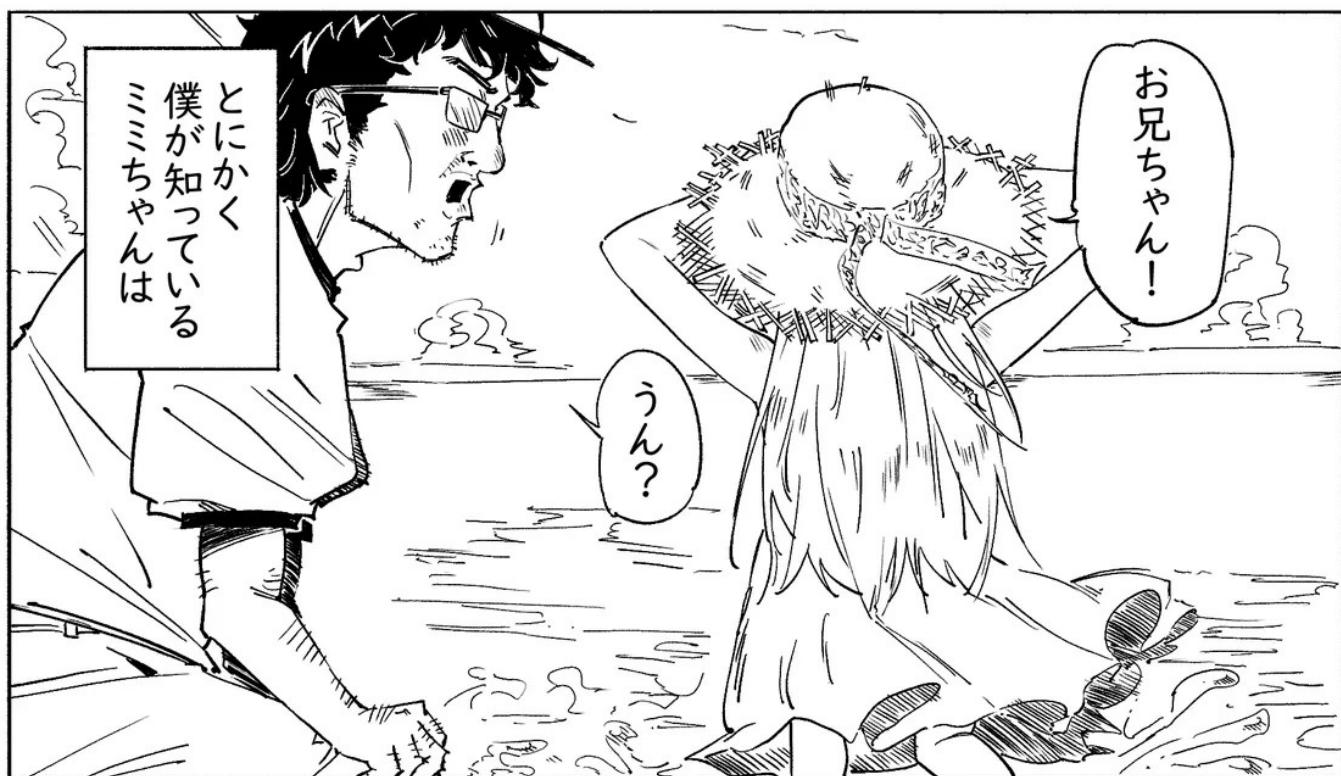
僕が現実に
縛りすぎたのかな
思ったけど、

そうでは
なかった



ミミちゃんが
強いのか、
僕が弱いのか…







無感覚症だ